



## 第2章 構想の位置づけと温室効果ガス削減目標

### 2-1 構想の位置づけと目的

札幌市におけるまちづくりの最上位の総合計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」で定める方針を踏まえ策定された「札幌市気候変動対策行動計画」は、札幌市域・市役所全体における気候変動対策分野の個別計画となっています。

今回策定する「札幌市下水道脱炭素構想」は、「札幌市気候変動対策行動計画」と連携し、整合を図るとともに、「札幌市下水道改築基本方針」と連携しながら、「札幌市下水道ビジョン」や「札幌市下水道事業中期経営プラン」に考え方を反映することで、具体的な取組を実施していくことを目的とします。

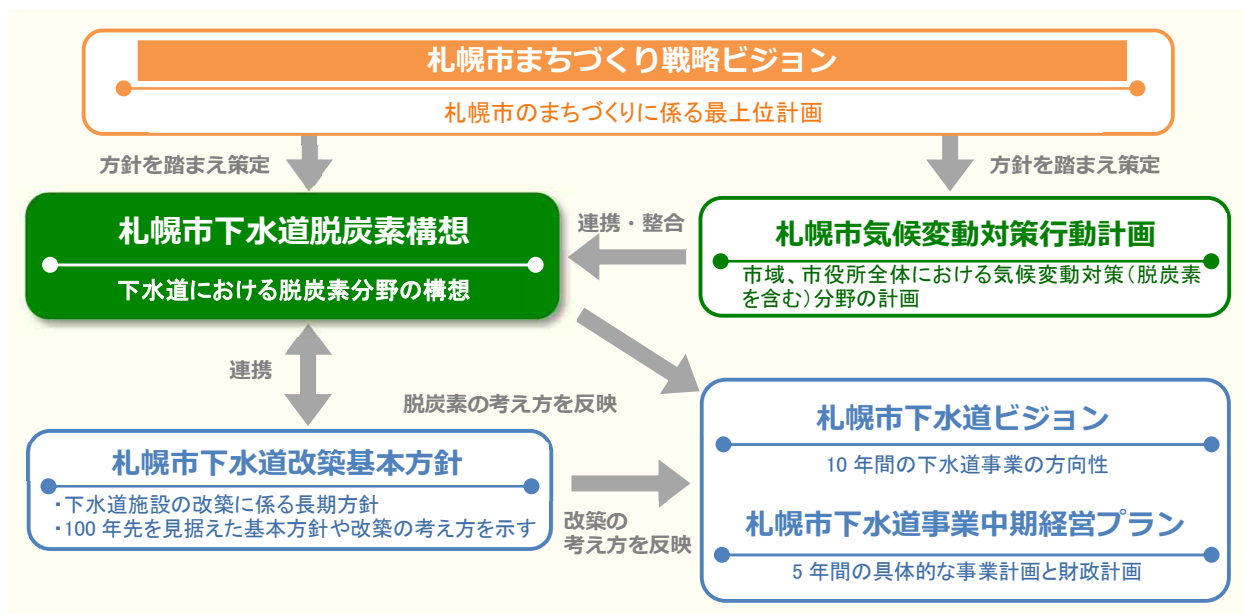
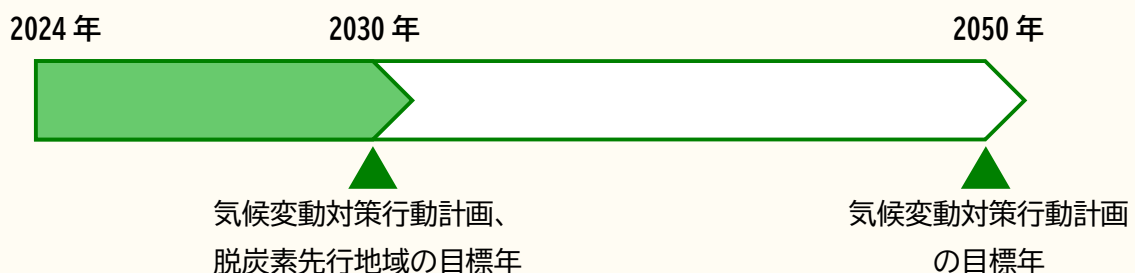


図 2-1 構想の体系と関連する主な計画

### 2-2 構想期間

下水道事業の温室効果ガスの削減の取組については、「札幌市気候変動対策行動計画」に合わせ、**2024年から2050年までを構想期間**として設定します。また、構想期間中は、「札幌市気候変動対策行動計画」や「脱炭素先行地域」に選定されたことに伴う目標について、期限内の達成を目指します。





## 2-3 温室効果ガス削減目標

2021年3月に策定された「札幌市気候変動対策行動計画」では、市役所の事務・事業の温室効果ガス排出量を2030年までに60%削減(2016年比)、2050年に実質ゼロとすることを目標としています。また、2022年11月に札幌市が「脱炭素先行地域」に選定されたことに伴い、2030年までに市有施設での電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロとすることを目標としているため、下水道事業においても、これらに合わせ、目標を次のとおり設定します。

「札幌市気候変動対策行動計画」における市役所の事務・事業の目標

**2030** 年目標

2016年比:温室効果ガス排出量 **60%削減**

2022年11月、札幌市が「脱炭素先行地域」に選定されたことに伴う目標  
市有施設での電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出量の**実質ゼロ**

**2050** 年目標

温室効果ガス排出量の**実質ゼロ**

## コラム⑤ 札幌市気候変動対策行動計画

札幌市では、持続可能な低炭素社会の実現に向けた温室効果ガス排出量の削減を推進するための計画として、2015年3月に「札幌市温暖化対策推進計画」を策定し、施策を進めてきました。

計画策定以降、国連サミットでの「持続可能な開発目標 (SDGs)」の採択や、新たな気候変動対策における世界的な枠組みである「パリ協定」の発効、気候変動に関する政府間パネル※ (IPCC) による「1.5℃特別報告書」の公表など、低炭素社会から脱炭素社会への動きが加速していることから、札幌市においても、持続可能な脱炭素社会の実現を目指し、2021年3月に「札幌市気候変動対策行動計画」を策定しました。

この計画は、「札幌市温暖化対策推進計画」、「札幌市エネルギービジョン」及び「札幌市役所エネルギー削減計画」を統合し、新たに「気候変動適応法」に基づく“地域気候変動適応計画”としても位置付けるものです。

「札幌市下水道脱炭素構想」は、この「札幌市気候変動対策行動計画」と十分な連携を図り、取組を進めます。

